

# 受講生募集中

日本農村カデザイン大学 2月学期

## 多様な命との共生・循環として食を捉える

～ 食の自給と自律的な農のあり方暮らし方～

自給率や農政を批判するまえに、自分の食卓の自給率を考え、行動する。政治に頼らず、自律的な暮らしで社会を変える自覚と意気込みが試されている今日、つくる人と食べる人、多様な生物との共生という新たな関係を考えていきます。

### 日程

平成 22 年 2 月 12 日（金）13：30～2 月 14 日（日）13:00

### 場所

池田町能楽の里文化交流会館

ファームハウス・コムニタ（夕食・宿泊場所）

### スケジュール

- 1 日目 土の課「食からはじめる地域づくり、人づくり～福井県小浜市の食のまちづくり～」(中田典子氏)  
ファームハウス・コムニタでの夕食交流会  
夕食交流会
- 2 日目 風の課「食と自然と農のつながり」(宇根豊氏)  
ディスカッション「食の伝え方、命の伝え方」  
昼食  
美の課「生物多様性と農の風景」  
野外実習 1「風景のとらえ方」  
夕食交流会
- 3 日目 美の課「農への新たな視点 自律的な農業とは」  
ディスカッション「農からの発想・発信を考える」

### 受講料

定員まで聴講生を募集します。料金は 15,000 円です。(食事代等は 14,000) なお、1 日のみの受講は、1 日 5,000 円です。

### 【中田 典子さんのプロフィール】

小浜市食のまちづくり課 政策専門員。

コンピュータメーカー勤務後、建築・デザイン関係の専門学校や短大にて、CAD や CG の講師を約 10 年務める。小浜市食育専門職となったのち、主に成長期の子供達の食育事業を企画、実践している。

2005 年度より農林水産省「地産地消推進検討会」委員。農林水産省「食と農の応援団」メンバー。また「キッズ・キッチン協会」（事務局：三井物産戦略研究所）理事を務める。

### 【宇根 豊さんのプロフィール】

長崎県生まれ。

福岡県農業改良普及員となり、1978 年から「減農薬運動」を提唱。1983 年に減農薬米の産直に初めて取り組む。虫見板を手に農薬散布に対抗する技術と言葉を田んぼの中から編み出すことを徹底的に実施。著書に「減農薬のイネづくり」（農文協）ほか。

### 申込先

910-2524 福井県今立郡池田町土合皿尾 2-27-1

日本農村力デザイン大学事務局

電話 090-2124-8100(理事長清水) F A X 0778-44-9088

mail [ikedac-nord.com](mailto:ikedac-nord.com)

### 2 学期申込書 ( F A X : 0778-44-9088 )

お名前 ( )

ご住所 ( 〒 )

連絡先 ( 携帯・ T E L ) F A X ( )

池田町への来町 ( 電車 / 自家用車 )

出席の状況

- 1 日目 講義 ( 出 / 欠 )  
夕食 ( 要 / 不要 )  
宿泊 ( 要 / 不要 ) 朝食付き
- 2 日目 講義 ( 午前中 ) ( 出 / 欠 )  
昼食 ( 要 / 不要 )  
講義 ( 午後 ) ( 出 / 欠 )  
夕食 ( 要 / 不要 )  
宿泊 ( 要 / 不要 ) 朝食付き

- 3 日目 講義 ( 出 / 欠 )  
昼食 ( 要 / 不要 )